

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.533

10



A-Policy【重点事業方針】

野菜きのこ課の取組み

A-Reports

- ・出荷本格化に向け「ぶどう三姉妹®」のトップセールスを開催 04
- ・「2023なんしんフラワーフェア」開催 05
- ・小学校でこの食育授業 06
- ・リンゴ高密度植栽培における機械化体系実演会を開催 07
- ・乗鞍ヒルクライム2023で「サンつがる」の振る舞い 07
- ・白馬で地元農産物をPR 08

- ・新採用職員紹介 09
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・10月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

(単位：千円)

大品目	5年度計画	4年度計画	4年度実績	計画対比	実績対比
葉菜	20,000,000	19,950,000	16,646,367	83%	95%
洋菜	31,290,000	31,190,000	26,922,646	86%	97%
根菜	735,000	735,000	591,928	81%	108%
果菜	4,815,000	4,815,000	4,665,876	97%	108%
加工野菜他	510,000	510,000	435,882	85%	108%
購買種苗他	680,000	700,000	521,926	77%	89%
野菜合計	58,030,000	57,900,000	49,784,625	86%	97%
きのこ	18,230,000	20,950,000	17,127,661	94%	99%
きのこ加工	110,000	110,000	97,857	89%	103%
種菌培地	440,000	440,000	332,650	79%	84%
きのこ合計	18,780,000	21,500,000	17,558,168	93%	98%
合 計	76,810,000	79,400,000	67,342,793	88%	98%

1. 令和5年度事業計画

野菜きのこ課

野菜きのこ課の取組み

2. 重点取組事項（野菜）



新容器・新出荷規格を進めるブロッコリー

- (1) 生産コスト・流通コスト上昇における対策として、農産物販売価格向上と生産経費圧縮に向けた生産販売に取り組みます。
- ① 生産コスト上昇に伴う売価への反映と消費者への啓発
- ② 契約的取引の価格の底上げ
- ③ 県下統一規格に向けた出荷容器規格の検討や輸送効率化を進めます。
- (2) 主力品目の需要に見合った計画生産・計画販売を徹底し、販売価格の安定を図ります。
- (3) 長野県としての重点市場・実需者を明確にし、JAと一体となった供給販売体制を強化します。
- ① 機能ある卸売会社との連携を強化
- ② 本県として生産力の充実が必要な品目・期間を明確にし、生産誘導を進めます。
- ③ 課題となる夏ハクサイ、レタス類（特にリーフレタス類）の計画について、地域に見合った具体的な代替品目の提案と誘導施策を行います。
- ④ 精度の高い生産・販売情報に基づいた、積極的な企画提案により需要の活性化を図ります。
- ⑤ 価格形成に向けた分荷機能を発揮するためのシステム化を進めます。
- ⑥ 緊急時には特別対策事業を効果的に発動し、出荷調整機能を発揮します。

長野産白菜
特別パッケージ

- ① 課題となる夏ハクサイ、レタス類（特にリーフレタス類）の計画について、地域に見合った具体的な代替品目の提案と誘導施策を行います。
- ② 本県として生産力の充実が必要な品目・期間を明確にし、生産誘導を進めます。
- ③ 課題となる夏ハクサイ、レタス類（特にリーフレタス類）の計画について、地域に見合った具体的な代替品目の提案と誘導施策を行います。
- ④ 精度の高い生産・販売情報に基づいた、積極的な企画提案により需要の活性化を図ります。
- ⑤ 価格形成に向けた分荷機能を発揮するためのシステム化を進めます。
- ⑥ 緊急時には特別対策事業を効果的に発動し、出荷調整機能を発揮します。
- ⑦ 県内産地リレーや総合品目供給を進め、消費宣伝を活用し重点実需者への対応力を強化します。
- ⑧ 契約取引は、顧客確保、競合産地対策と生産者手取りの安定確保を目的とし、確実に契約履行するために条件整備と生産対策を行います。



香港の量販店「taste」での宣伝会



ファミリーマートにおける
産地訴求



味の素コラボレシピPOP



生協共同購入企画（紙面掲載）

- ③業務加工実需者との連携により販
促・出荷形態検討・商品開発を行
い、産地・実需者ともにメリット
ある取り組みを進めます。
 - ④他企業との業務連携による新たな
販売対策の構築を進めます。
 - ④多様な生産者への生産提案による生
産基盤強化と、系統共販対策を進め
ます。
 - ①果根菜類および加工業務原料野菜
を農業生産法人・営農組合・複合
経営生産者などに推進し生産拡大
と集荷対策を進めます。
 - ⑤より信頼される産地に向けて、品質
向上対策、出荷物のトレース体制整
備、GAPの取り組み強化を進めま
す。認証GAPの導入と販売提案を
進めます。
- 3. 重点取組事項（きのこ）**
- (1) 生産コスト・流通コスト上昇におけ
る対策として、農産物販売価格向上
と生産経費圧縮に向けた生産販売に
取り組みます。
 - ①生産コスト上昇に伴う売価への反
映と消費者への啓発
 - ②契約的取引の価格の底上げ
 - ③アイテム集約によるトータルコス
ト削減と安定供給による価格形成
力の強化
 - (2) 営業強化と供給拡大による販売価格
回復
 - ①きのこ重点取引先への定期推進と
総合品目による供給拡大
 - ②時期別・目標価格に見合った事前
提案や実需者販促企画により価格
の安定化を図ります。
 - ③付加価値商品の活用と商品提案力
強化による業務加工用実需者の新
規獲得
 - (3) 実需者支援型消費宣伝事業の継続提
案
 - ①販売支援員による推奨（試食）販
売提案の継続と新規販促資材開発
 - ②店舗売り場職員・バイヤーへの研
修会開催によるファンづくり
 - ③きのこ食文化と需要創出に向けた
各種研修会開催およびレシピ開発
 - (4) 全県における計画生産と集荷対策の
改善
 - ①生産者個別集荷対策の実施による
欠品回避
 - ②系統出荷誘導により系統率の拡大



ぶなしめじ新品種「長野農工研 B-4 号」

- (5) 市場要請量に沿った生産計画の励行
 - ① 需要と供給の適正量の検証を進めます。
 - ② 需要減退期の生産調整、需要期入りの生産検討、需要伸長期の生産を検討します。
- (6) 安全安心に向けた衛生管理の徹底と品質向上
 - ① 金属、ガラス、プラ片など健康被害案件につながる異物混入対策の徹底
 - ② 県 GAP、第三者認証 GAP、HACCP による安全な商品管理の励行



大学生協食堂の食育ランチ

- (7) パレット輸送およびコスト抑制に向けた段ボール開発・導入
 - ① パレット規格に適合する共通ダンボールの開発と導入推進を進めます。
 - ② 輸送効率化に向けたパレット単位輸送の励行
- (8) 品種開発と新品目開発
 - ① ぶなしめじ新品種の県下普及と品質平準化による良品供給を実現します。
 - ② ぶなしめじの契約的取引の獲得を進めます。



小学校の授業参観で実施したきのこの食育授業（詳細は本誌 6 ページをご覧ください）

出荷本格化に向け「ぶどう三姉妹®」の トップセールスを開催

JA全農長野は9月4日(月)、東京都中央卸売市場大田市場でこれから本格出荷を迎える「ぶどう三姉妹®」(ナガノパープル、シャインマスカット、クイーンルージュ®)のトップセールスを行いました。長野県の阿部守一知事と全農長野運営委員会の神農佳人会長が市場関係者等に売り込みました。

東京青果(株)競売場で阿部知事は「消費者の皆様にごぶどう三姉妹®のすばらしさを伝えていただけるとありがたい」とお願いし、神農会長は「ぶどう三姉妹、よろしく願います」とPRしました。市場にごぶどう三姉妹®のPRブースを設け、ぶどうや本県産果実で作ったフルーツカービングの展示に加え、阿部知事、神農会長、鳥田県本部長、武田ブドウ部会長によるぶどう三姉妹®の試食サンプリング、ノベルティグッズの配布を行いました。用意した試食は瞬く間に終了し、長野県産ぶどうへの関心の高さが感じられました。

全農長野はJAや試験機関と一体となつてぶどう三姉妹®の高品質維持のための全県的な出荷規格の検討と目揃いを行い、JAグループの販売力を高めるとともに、生産基盤の拡充に取り組みを進めます。



ぶどう三姉妹®の試食サンプリング

ぶどう三姉妹®の展示



フルーツカービングで作ったぶどう三姉妹®



競売場での挨拶

「2023なんしんフラワーフェア」開催

なんしんフラワーフェア推進協議会（構成団体…JA信州諏訪、JA上伊那、JAみなみ信州、JA全農長野中信事業所・南信事業所）は8月31日（木）と9月1日（金）の両日、富士見町のJA会館ふじみで36回目となる「2023なんしんフラワーフェア」を開催しました。

今年の気象状況は大変厳しく、6月初旬の記録的な大雨や7月の梅雨明け以降の異常ともいえる猛暑が続く中、生産者の努力やJA関係者のご尽力により南信地域3JA管内からキク、アルストロメリア、トルコギキョウ、カーネーション、ダリアなど215点が出品されました。

審査の結果、関東農政局長賞に選ばれた中村清一郎さん（JA信州諏訪）の輪ギク「岩の白扇」（＝表紙右上）は、適切な切り前で花の揃いがよくポリウムがあり、草姿バランスの優れている点が評価されました。出品された切り花のレベルは総じて高く、花色、草姿バランスや市場性などが評価された28点が入賞しました。

今回は4年ぶりに褒章授与式と一般公開を行い賑やかな会場となりました。品評会に出品された花きのほか、賛助会員からご提供いただいた新品種の花き、園芸・農業関係資材・資料の展示もあり、近隣にお住まいの方や県内JAの花き部会の皆様など、多くの方にご来場いただき南信地区の花きをお楽しみいただきました。

なんしんフラワーフェアは諏訪と飯田で

毎年交互に開催しており、今回は来年7月に飯田市で開催を予定しています。中信事業所生産販売課は、今後も南信・中信地域の産地で連携を深めながら、花きの生産振興と消費宣伝に努めて参ります。

2023なんしんフラワーフェア入賞者名簿

（敬称略）

賞	品目名	品種名	氏名	JA名
関東農政局長賞	輪ギク	岩の白扇	中村 清一郎	信州諏訪
長野県知事賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	有限会社 末広農園	上伊那
	トルコギキョウ	ハビネスホワイト	藤森 英一	信州諏訪
長野県農協中央会長賞	アルストロメリア	ライムライト	半田 航志	信州諏訪
	スタンダードカーネーション	ブラテリア	星野 仁志	信州諏訪
全農長野県本部長賞	ディスバッドマム	エファオレンジ	迎 弘樹	信州諏訪
	トルコギキョウ	セレブ3型クリスタル	両角 哲雄	信州諏訪
長野県地域振興局長賞	鉄砲ユリ	凜花II	山中 巧	上伊那
	アルストロメリア	ピンクティアラ	小池 潤	信州諏訪
	クレマチス	ラベンダーブルー	池田 毅	みなみ信州
JA南信地区協議会長賞	スプレーギク	セイバレア	伊藤 幸彦	信州諏訪
	スタンダードカーネーション	ミモザ	名取 靖	信州諏訪
農業協同組合長賞	輪ギク	岩の白扇	三井 静明	信州諏訪
	アルストロメリア	オーロラ	中原 睦男	上伊那
	ダリア	ナマハゲノワール	塩沢 利廣	みなみ信州
長野県農協中央会営農政部長賞	アルストロメリア	ジョールズ	篠原 俊	信州諏訪
	アルストロメリア	エデン	矢沢 光洋	信州諏訪
全農長野県本部事業所長賞	輪ギク	星の輝	名取 照雄	信州諏訪
長野県生花商業組合理事賞	アルストロメリア	ハニーンフィア	古畑 雅一	上伊那
東京地区長野県花き推進協議会長賞	アルストロメリア	ニア	松木 裕	信州諏訪
中部圏信州花き販売推進協議会長賞	ディスバッドマム	セイロッサ	田中 学	信州諏訪
京阪神地区信州花き推進協議会長賞	スタンダードカーネーション	アスペン	小池 直志	信州諏訪
なんしんフラワーフェア推進協議会長賞	トルコギキョウ	ホワイトバロン	農事組合法人 イーストテラスはいばら	上伊那
	スターチス一年生	ブルーデューパー	百瀬 友満	信州諏訪
	アルストロメリア	パール	農事組合法人 らいふ	上伊那
	スプレーカーネーション	ハロー	阿部 長衛	信州諏訪
審査員奨励賞	宿根カスミ草	アルタイル	平出 千里	信州諏訪
	アジサイ	西安	農事組合法人 アグリーナ	上伊那



一般公開の様子



審査の様子

小学校できのこの食育授業

J A全農長野野菜きのこ課は9月15日(金)、長野市立緑ヶ丘小学校の6年2組33名を対象に、きのこの食育授業を行いました。この日は授業参観で、保護者の皆さんも興味深くご覧になっていました。

はじめに「きのこの紹介」や「きのこができるまで」の動画を視聴していただき、「きのこの名前」や「日本に自生しているきのこ」など、簡単なクイズできのこについて理解を深めてもらいました。

収穫体験では栽培ビンからえのきたけとぶなしめじのもぎ採りを行いました(Ⅱ表紙左下)。児童は、初めて栽培ビンから生えているきのこを見て「おもしろい!」「不思議な感触!」と言いながら楽しそうにもぎ採っていました。

調理実習は、えのきたけを使い「えのきの株ステーキ」を調理しました。オリーブオイルで焼いてチーズを乗せたステーキは、「歯ごたえがあつておいしい」「今まで捨てていた部分が食べられるなんて、もったいないことを

していた」と保護者の方からも大好評でした。きのこが好きじゃないという児童も「これなら食べられる!」とおいしそうに食べていました。

きのこは苦手なお子さんが多くいます。今回の授業は、お子さんも保護者の皆さんもきのこに興味を持ち、スーパで手に取ってもらえる体験になったと思います。

野菜きのこ課では、幼少期からきのこを食べる食生活に親しんでもらえるような企画を行って参ります。



きのこの紹介をする職員



授業で使用了資料

保護者の方も栽培ビンに興味深々



おいしく調理できました



えのきの株ステーキを調理

リンゴ高密度栽培における 機械化体系実演会を開催

JA全農長野生産振興部生産振興課は、農業機械課の協力のもと9月14日(木)、伊那市のほ場で、リンゴ高密度栽培における機械化体系実演会を開催しました。

リンゴの高密度栽培は県下で450ヘクタールほどに拡大し、大規模生産者も増加傾向にあります。イタリアなど欧米ではトラクターを利用した機械化一貫体系の導入も進んでおり、日本でも省力化に向けた機械化体系の確立が急がれています。本県での導入に向けた足がかりとするため、JA果樹担当者や生産者など約80名が出席し、実演会を行いました。

実演・展示した農機は、トラクター、モア、肥料散布機など8メーカーから12機種。出席者はメーカー担当者から説明を聞き、実演を通じて使用性などを確認していました。



開会の挨拶をする生産振興部の根津部長

生産者からは、果樹栽培用の大型機械に触れる機会が少ないので、今後このような研修会の開催を期待する声が多く聞かれました。

JA担当者は「近年、リンゴ高密度栽培の導入により大面積の生産者が増えていきます。今後は機械導入による省力化が重要になってきますので、本日の実演会では実際に目で見て確認できる良い機会になりました」と話しました。

リンゴ高密度栽培は機械化が可能な栽培システムですが、機械の規格に合わせた圃場の設計など導入に至るまでには課題もあります。今後も安定した生産物を供給するためにも省力化に向け積極的に取り組んで参ります。



各メーカーが機械を説明



乗鞍ヒルクライム 2023で 「サンつがる」の 振る舞い

JA全農長野中信事業所は8月27日(日)、JA松本ハイランドの協力のもと、自転車レース「乗鞍ヒルクライム2023」で「サンつがる」を振る舞い、リンゴをPRしました。

この大会は、自転車レースとしては国内最高所を走る大会で、自然豊かで雄大な乗鞍高原を感じていただき、乗鞍高原および松本市を広く発信するとともに地域の活力向上を目指し、毎年開催されています。乗鞍高原の標高差1,260mを一気に駆け上がる全長20.5kmのロードレースで、恵まれた好天の中、全国からエントリーした約4,000人の選手が最高地点2,720mのゴールを目指し、懸命にペダルをこいでいました。

毎年この大会に参加している選手は「天候もロケーションも良くて、このリンゴも甘くてとてもおいしいです」とレース後の満足感と一緒に味わっていました。

白馬で地元農産物をPR

全農中信事業所JA園芸事業推進協議会は8月12日(土)、スノーピークランドステーション白馬で中信地区の野菜と果実をPRしました。同協議会のイベント開催はコロナ禍以降初めてで、同会場での開催も初めてです。

販売は行わず試食宣伝に特化し、JAあづみ産のリンゴ「シナノリップ」、JA松本ハイランド産のスイカ、JA信州諏訪産のセルリー、JA松本ハイランドとJA洗馬産のスイートコーン、JA大北産のミニトマトの振る舞いのほか、スイカ割りイベントも行いました。首都圏や関西からのグループや家族連れが多く海外

ほどが挑戦しました。「スイカ割りが初めて」というお客様も多く、大変喜ばれました。車での来店が多く、直売所マップを持ち帰るお客様も多かったです。同会場では5月から11月中旬まで「週末マルシェ」を開き、地元を中心に20店前後が出店しています。(株)スノーピーク白馬のイベント担当者は「農産物の振る舞いやスイカ割りは初めて。参加者の反応が非常に良く、次回以降も出店をお願いしたい」と話しました。夏休みの思い出として、ここで試食した農産物がいしかったことを覚えてもらえたと思います。地元へ帰り、日常の買い物で長野県産を選んでいただくきっかけになったと思います。



年齢問わず人気のスイカ割り

からのお客様もいて、「こんなにおいしいセルリーは初めて食べた」「スイカが甘い」と試食には次々に手が出ました。また、スイカ割りはスイカに棒を当てるとシナノリップがもらえるところ、子どもから大人まで100人



スイカの試食



シナノリップ、セルリー、ミニトマトの試食



新採用職員紹介

令和5年度の新採用職員を順次ご紹介します

中信事業所

生活課

おぎはら かな
荻原 夏菜



ぜひ JA-SS をご利用ください!

はじめまして、中信事業所生活課の荻原夏菜と申します。出身は飯田市で、実家では祖父母が花と市田柿を出荷しており、農業が身近な環境で育ちました。現在は石油担当として、燃料事業について日々勉強中です。車の運転にも少しずつ慣れてきたので、県内各地を巡っておいしい食べ物、きれいな景色を見つけていきたいです。

これからもっと知識や経験を積み、少しでも早くJAや組合員の皆様のお役に立てるよう成長していきたいと思います。よろしくお願いします!

北信事業所

営農資材課

おがわ まひろ
小川 麻博



倉庫の棚卸作業時の写真です

初めまして。北信事業所 営農資材課の小川麻博と申します。スーパーでアルバイトをしていたこともあり、青果物に携わりたいという思いから、県外で育ちましたが、レジャーや身内のかかわりで馴染みのあった長野県に就職を決めました。商品知識の習得や問い合わせ対応など、慣れない作業の中で失敗と勉強の毎日を過ごしています。日々新しく吸収することが多く、刺激のある環境で仕事ができます。

まだまだ半人前にも満たない私ですが、よろしくお願いいたします。

北信事業所

生産販売課

とや りんか
戸谷 梨華



きのこ勉強中です!

こんにちは、北信事業所生産販売課 戸谷梨華です。出身は坂城町です。入会して約半年が経ち、長野県で四季を感じながら仕事ができる喜びを感じております。お休みの日は綺麗な景色を求めてドライブをしたり、映画を見たりして過ごしています。

業務ではきのこの担当をしており、まだまだ勉強の毎日ですが、たくさんの知識をつけ頑張っていきます。よろしくお願いいたします。

JA全農長野の事業現況▶

令和5年度8月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		0	0	0
野菜種苗センター		102	87	96
生産振興部計		102	87	83
米	穀	5,543	89	101
果実花き		13,787	109	95
野菜きのこ		33,982	90	104
営業		5,984	90	105
生産販売部計		59,296	94	101
包装資材		3,719	106	111
生産資材		3,997	96	86
農業機械		2,792	97	97
施設住宅		5,268	126	231
生産購買部計		15,775	107	120
畜産酪農		13,163	100	102
三岳牧場		124	115	142
SPF繁殖センター		118	92	91
ハケ岳牧場		113	104	98
畜産酪農部計		13,517	100	102
燃料・ホームエネルギー		9,985	103	98
S S 協同経営		3,288	115	104
生活		3,767	106	100
生活部計		17,040	106	100
長野県本部計		105,731	98	104

(内部販売高含む)

10月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
10/25(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえびりでい内 「暮らしの応援団」	野菜きのこ課

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら▶



今月のおすすめレシピ

第39回牛乳・乳製品利用料理コンクール

長野県大会 優良賞

(長野県牛乳普及協会長賞)



丸ごとりんごプリン



■材料(4人分)

- ・牛乳…………… 140ml 〈カラメルソース〉
- ・生クリーム…………… 60ml ・グラニュー糖…………… 50g
- ・りんご…………… 4個 ・水…………… 小さじ2
- ・卵…………… 4個 ・お湯…………… 100cc
- ・グラニュー糖… 大さじ4
- ・バニラエッセンス… 3滴

- ①りんごの頭を切り落とし、果肉をスプーンでくり抜く。
 - ②①の果肉から芯を取り除き、果肉を粗みじん切りにする。
 - ③牛乳を軽く温めながらグラニュー糖を溶かし、生クリーム、バニラエッセンスを加える。
 - ④①のくり抜いた部分に②を入れ、③を注ぎ入れたら、クッキングシートを敷いた天板に乗せて、170℃に予熱したオーブンでプリン液が固まるまで20分程度焼き、粗熱を取る。
 - ⑤カラメルソースをかけて完成。
- 〈カラメルソース〉
- ①耐熱容器にグラニュー糖と水を入れ、そのまま600Wの電子レンジで2分加熱する。
 - ②色付いてきたら電子レンジから取り出し、お湯を少しずつ加える。

ワンポイント
アドバイス

*そのままスプーンですくっても、切り分けても、どちらもおいしく召し上がれます。

グリーンレーダー
WEB版はこちら▶



編集後記

県内各地で黄金色に実った稲の収穫が始まりました。ぶどう、梨、りんごも旬を迎え、実りの秋を迎えています。筆者は毎年JA上伊那那部会の小ブナの出荷の記事を見るにつけ秋を感じずにはいられません。

小鮒は県内では、佐久と上伊那地域で生産され、地元スーパーでは水槽で活小鮒として販売します。私がAコープ店の惣菜売場にいた頃は、毎日専用のビニール袋で生きた状態の小鮒が10〜20kg単位で入荷してきました。入荷した水洗いして、煮立てたタレの中に活魚のまま入れます。活魚のまま調理しないと「えぐみ」が出てしまうからです。鍋に入れ鍋蓋を閉める二連の姿、立ち上る湯気、跳ねる音は豪快で、Aコープの風物でした。

「Aコープの小鮒甘露煮は何で美味しいの?」家庭では真似ができません。など良く聞かれました。調味料は、醤油・水・砂糖しか使っていませんでしたので、私が考える美味しい秘訣は次の3つです。①「活鮒」であること、②「大量調理による熱容量が大きい」こと、③「家庭では真似できないですが、③「煮鮒を調理した煮汁に追いタレで調理」することです。私が勤務したAコープ店は毎日「鯉のうま煮」を作っていましたので程よく鯉の旨味が出た煮汁タレを使うことで、味が良く、照りのある「小鮒甘露煮」を作ることができた秘訣かと思えます。

田の神に感謝する秋祭り、村々の神社に幟がたち、地域によっては神楽や田楽などもあるでしょう。秋収穫を感謝し今年も「小鮒の甘露煮」を味わうことが楽しみです。

(一)



『旬の長野県産フルーツ』をテーマにした写真、動画を募集します！

応募方法

Instagram
公式アカウント
@shinshufruits
をフォローして、



#パシヤフル をつけ、
長野県産の推しポイントも
コメントして投稿してください。



応募期間

第1弾 7月1日～7月31日	第4弾 10月1日～10月31日
第2弾 8月1日～8月31日	第5弾 11月1日～11月30日
第3弾 9月1日～9月30日	第6弾 12月1日～12月31日

審査発表は翌月15日ごろ

入賞 & 賞品

＜グランプリ de 賞＞

毎月1名
長野県産品詰め合わせ

＜ふるさと de 賞＞

毎月1名
長野県産加工品詰め合わせ



ポータブル
ブレンダー付



リンゴ
カッター付

＜JA全農長野賞＞

毎月10名

JA産 旬のフルーツ



※賞品写真はイメージです。各賞の商品は予告なく変更になる場合がございます。

お問合せ

全国農業協同組合連合会長野県本部（JA全農長野）
果実花き課 フルーツフォトコンテスト係

<https://shinshufruits.com/>

〒380-8614 長野県長野市大字南長野北石堂町 1177 番地 3

Instagram公式アカウントのメッセージ機能を通じて、公式アカウントまでお問合せください

パシヤフル 検索

※ご応募いただいた作品は JA全農長野のWebサイトへ掲載するとともに、JA全農長野の広告やポスター、チラシ等へ応募作品を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。※入賞者への連絡は、InstagramのDM機能を通じて連絡を行いますので、ご連絡の際にアカウントのフォローを解除していたり、一週間ご返事がいただけない場合には入賞を取り消す場合があります。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

